被災者の情報・状況を
迅速かつ安全に管理できます

きずな支援ねっと

災害の直後で人員に余裕のない避難所でも被災者を短時間で受け付け可能にするとともに、発災直後は避難所と避難者数、次は安否情報、最後は避難者名簿の情報をリアルタイムに段階的に集約・共有することで、対策本部の迅速な救援の判断にご活用いただけます。安否情報はインターネットへ自動転送するため、問い合わせ対応人員の低減が可能です。これらの機能とバッテリーをアタッシュケース一つにまとめましたので、急に発生した災害地域の避難所に持参して、迅速かつ簡単に活用できるようにしました。

きずな支援ねっとの特長

避難所運営者

受付業務を迅速化できます

災害直後で人員に余裕のない避難所でも短時間で受付できます。

災害対策本部

被災者の情報を把握できます

どの避難所にどんな被災者が多いのか把握して効果的に支援できます。

全国のご家族様

安否情報を短期間で確認できます

安否情報確認サービスへの登録が簡単なので安否確認が短時間で行えます。

これがアタッシュケース一つで可能

各避難所での常備や災害発生後の展開が容易です。

NTT Electronics

災害発生後の対応の流れ

❶ 避難所での被災者の受け入れ時間を短縮

過去の災害では、避難所での受け入れ処理に時間がかかり、被災者を長時間待たせてしまうことがありました。
本システムではタブレット端末を活用し、避難所での記入用紙やテキスト入力だけでなく、写真撮影での受付にも対応します。撮影した情報は状況が落着いてからのテキスト入力が可能なため、災害直後で人員に余裕のない避難所でも被災者の受け入れが短時間で行えます。

❷ 各避難所での被災者の受け入れ情報を本部に集約して活用

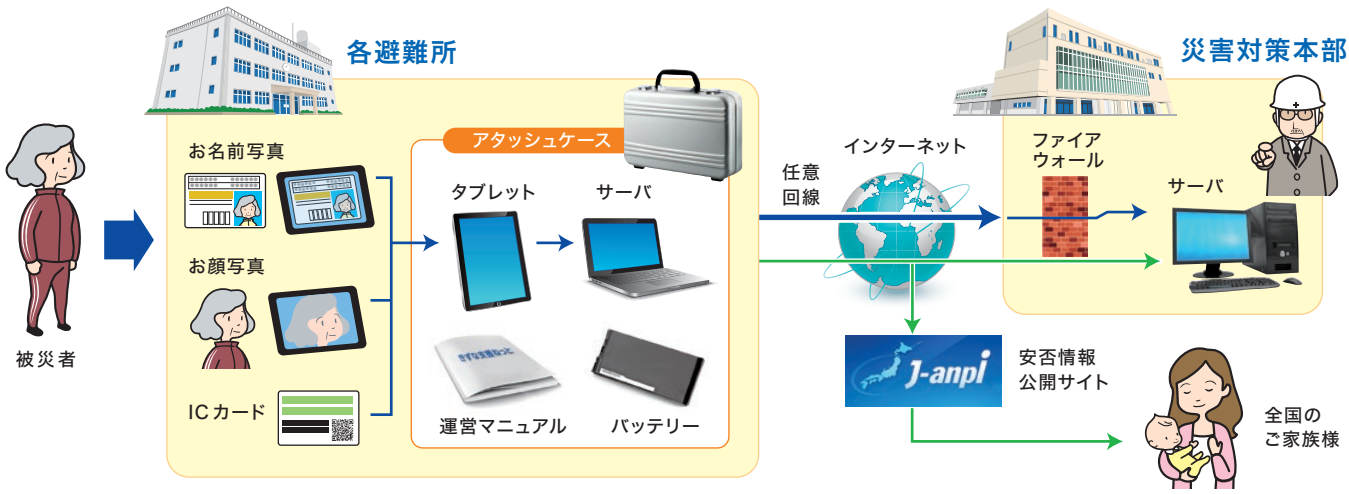
避難所ごとに何人の被災者が居て、そのうちすぐに助けが必要な人はどのくらい居るのか、随時変化する状況をリアルタイムに把握するのが従来は困難でした。
本システムでは、各避難所の被災者の受け入れ状況を災害対策本部のサーバに自動送信するため、どの避難所にどんな避難者が多いのかすぐ把握でき、どの物資をどの避難所にどれだけ送ればよいのか本部で判断を下す助けになります。また、IC カードを利用することで、従来は短時間で情報を把握することが難しかった避難所間での被災者の移動にも対応できます。

❸ 短時間で安否情報確認サービスを提供

各避難所から災害対策本部へ集約される被災者の情報をインターネットの安否情報確認サービス(※)で公開できます。最新の情報を提供できるとともに、安否情報の対応に必要な人員を低減できます。

※ 2014 年12月現在、NTTレゾナント株式会社が提供する「J-anpi 安否情報まとめて検索」と連携可能です。

きずな支援ねっとの動作概要



□ 本仕様および外観は改善のため、予告なく変更する場合があります。製品のご購入およびご使用の際には、最新情報についてご確認ください。
□ 当社製品の使用に際しては、製品添付の仕様書、取扱説明書を必ずお読みいただき、記載内容に従ってご使用願います。
□ 製品を輸出する場合には、日本国及び関係国の輸出関連法を遵守して下さい。
□ J-anpi は NTT レゾナント株式会社の登録商標です。

NTT Electronics

NTT エレクトロニクス株式会社

営業本部 システム営業部
〒221-0031
神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-32 ニューステージ横浜
TEL：045-414-9150　FAX：045-453-9710
Email：sys-info-jp@ntt-el.com
URL：http://www.ntt-electronics.com/product/security/

125-P/P15-5-01